大学番号:私192

[平成29年度設置]

計画の区分: 学部の設置

注1



名古屋芸術大学 芸術学部 注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人名古屋自由学院 平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 学務部教務学生課

職名・氏名 課長・奥田 治人

電話番号 0568-24-0325

(夜間) 0568-24-0325

F A X 0568-24-0326

e — mail kyoumuka@nua.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

- () 書きにて、現在の名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

• 学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合:「○○短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」

• 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出 について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

学校法人名古屋自由学院

- (2) 大学名 名古屋芸術大学
- (3) 大学の位置

〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井281番地(東キャンパス及び本部) 〒481-8535 愛知県北名古屋市徳重西沼65番地(西キャンパス)

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理事長	(カワムラ ダイスケ) 川村 大介 (平成22年4月)		
学 長	(タケモト ヨシアキ) 竹本 義明 (平成28年4月)		
学 部 長	(ハギハラ マコト) 萩原 周 (平成29年4月)		
学科長等	(ムラカミ マサヒロ) 村上 正裕 (平成29年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 平成29年度に報告済の内容 → (29) 平成30年度に報告する内容 → (30)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません)。
 - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表 を追加してください。
 - ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	畑 行
芸術学部	音楽関係	年	Y	3年次 人	λ.	
芸術学科	美術関係	4	445	35	1, 850	
学士 (芸術)						

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成29	9年度	平成3	0 年度	平成3	1 年度	平成 3	2年度	平均入学定員	備	考
区分	春季入学 そ	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	超 過 率	VHI	73
	人 445	<u>5</u>	人 4	人 45	X	Y	7	X			
A 入学定員	(– [–)	-) -]	-) -]	([)	([)			
志願者数	540 (-) ([2]	- (-) [-]	605 (-) [2]	- (-) [-]	()	()	()	()			
受験者数	532 (-) ([2]	_ (588 (-) [2]	- (-) [-]	()	()	()	()	0. 90倍		
合格者数	498 (-) ([2]	- (-) [-]	575 (-) [2]	- (-) [-]	()	()	()	()			
B 入学者数	361 (-) ([2]	- (-) [-]	446 (-) [2]	- (-) [-]	()	()	()	()			
入学定員超過率 B/A	0.8	1	1.	00				•			

- (注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ ()内には、編入学の状況について<u>外数で</u>記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
 - · 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、<u>計算の際は「入学定員超過率」と同様</u>にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象	東年度	平成	2 !	9 年	度	平月	戊3	0 4	年度	平	成3	14	丰度	4	☑成3	2年	度	備	考	
学年		春季入	学	その他	の学期	春季.	入学	その	他の学	春季	▶入学	その	他の学期	春季	季入学	その他	也の学期	1/用	45	
		361			-	44	6		-											
1 年次		[2]	[-	-]	[2]	[- :] []	[]	[]	[]			
		(-)	(-)	(9		(-)	()	()							
						33			-											
2 年次			/			[2			- :] []	[]	[]	[]			
						(-)	(-)	()	()	()	()			
0.5%										_	,	_	-	_	,	_	-			
3年次			/				/			[[,	_)	L	,			
		_			_	_				()	(()	()			
4 年次			,	/										Г	1	Г	1			
7 + 2						/					/			()	()			
			36	1		_	7	84						<u> </u>	,	`				
計		[-	-]	[2]	[]]			
		(-	-)		(9)		()	()			

- (注)・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳		
VA.E.E.	在学者数(b)	退学者数(a)	1 学 1 七 左 庄	退学者数	退学者数の	主な退学理由
対象年度			入学した年度	赵于 1	うち留学生数	
平成29年度	361 人	0 人	平成29年度	0 人	- 人	
平成30年度	793 人	14 人	平成29年度	14 人	- 人	・就学意欲の低下(7人) ・学生個人の心身に関する事情(7人)
1 级00平及	750 X	17 /	平成30年度	0 人	- 人	
			平成29年度	人	人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
十八02年及			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
合 計	793 人	14 人				

- (注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要は</u>ありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職・学生個人の心身に関する事情・家庭の事情・除籍・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】 平成29年度の退学者数(a) 平成29年度の在学者数(b) _ = _ 0 % 【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b) % - = -1.76 【平成31年度】 平成31年度の退学者数(a) _ = _ % 平成31年度の在学者数(b) 【平成32年度】 平成32年度の退学者数(a) _ = _ % 平成32年度の在学者数(b)

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<芸術学部 芸術学科>

(1) 一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

¥I □		配业	Ì	単位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任	l
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼	
	十 <i>当上1-1</i> -7	次	修	択	由	授	授	師	教	手	担	
	大学生になる ボランティア	1前 1後	1	2		6	4	1			1	
	アートと数・図形	1後		2			1				1	
	日本語表現	1後	1	_							1	
	現代芸術と文化	1後		2		2						
	民俗学	2前後		2		1					1	
	子育てとアートの人類学	1前後		2			1				1	
	感覚の生物学 哲学	1前後		2			1					
	台子 倫理学	1前後 1前後		2		1					1	
	歴史と人間	1前後		2		'					1	
	文学	1前後		2		1						
	異文化入門	1前後		2		1	2					
	自分を知る心理学	1前後		2			1				1	
	社会と平和	1前後		2							1	
_	日本国憲法 自然と物理	1前後		2							1	
全学	日然と初理 環境・社会と科学	1前後		2			1				1	
総	健康と体力	1前後		2		2	'				'	
合共	健康スポーツ	1前後		2		2					1	
通	インターンシップ	2後		2		1						
科	知的所有権	2後		2							1	
目	情報メディア演習 I	1前後	2					1			1	
_	情報メディア演習Ⅱ	2前後		2				1			1	
般	キャリア1	1前		2		1						
科目	キャリア2 英語1	2前後 1前後	1	2		1	1					
群	英語2	1前後	1			1	'					
	英語3	1前後		1		1	1					
	コミュニケーション英語1	1前後	1			1		1				
	コミュニケーション英語2	1前後	1			1		1				
	コミュニケーション英語3	1前後		1		1		1				
	フランス語 I	1前後		1			1					
	フランス語 II フランス語 II	1前後 2後		1			1					
	ドイツ語 I	21 友 1前後		1		1	'					
	ドイツ語 Ⅱ	1前後		1		1						
	ドイツ語皿	2後		1		1						
	イタリア語 Ι	1前後		1			1					
	イタリア語 Ⅱ	1前後		1			1					
	イタリア語皿	2前後		1			1					
	中国語Ⅰ	1前後		1							2	
	中国語 II 中国語 II	1前後 2後		1							1	
	音楽の世界	1前		2		1					_	
	西洋音楽史各論	1前		2		1						l
全	ポップスミュージックシーン	2前後		2							1	l
学	ロックミュージックシーン	2前後		2							1	
総合	ジャズ概論	3後		2							1	l
共	舞台芸術概論	1前後		2		1						l
通	美術文化各論1 美術文化各論2	1前		2		1						
科目	美術文化各論2	1前 2後		2		1						l
/	美術文化各論4	2後		2		1						
横	美学	1後		2		l					1	
断科	美術解剖学	2前		2							1	
目	エコロジーとバリアフリー	1前後		2							1	l
群	認知科学	1前後		2							1	l
	デザインと文化1	1前		2			1	1				
	デザインと文化2	1前		2			1	1				l

【平成30年度】

村日 娯楽科日の夕称 当 必 選 白 数 准 護 助 助 。			配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
大学生になる 100	科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教		講	助	助	
大学生になる	_,,			修	択	由	授		師	教	手	
T		大学生になる	1前後	1								8
日本院		ボランティア	1後		2							1
現代答字		アートと数・図形	1後		2			1				1
民育でとアートの人類学 前後 2			1前後	1			0	3	1			12
予育でとアートの人類学 前職後 2			1後				1					
勝岐 2			1前後				1					
哲学												0
編里学 10								1				
歴史と人間 1後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1												
下映							U					
異文化入門自分をと平憲法												'
自分をと知る心理学 前職機 2								4				
社会と平和							'					1
日本国憲法 前職機 1					_			٥				
全学総合共通科目												
学総合共通科目 / 一般科目群 / 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	全											
総合共通科目 / 一般	学							1				
健康スポーツ	総				_		1					
インターンシップ	合せ											
和	八	インターンシップ	2前後									
目			2後		2							1
キャリア1		情報メディア演習 I	1前後	2					1			1
世界	/	情報メディア演習 Ⅱ	2前後		2				1			1
科目 群	血血	キャリア1	1前後		2		0					2
日 群 英語1 1前 1 0 2 2 3 4 4 5 音 2 5 6 3 3 3 4 5 6 音 3 6 5 6 6 4 通 科目		キャリア2	2前後		2		0					1
英語3		英語1	1前	1			0	2				3
Texal	群	英語2	1後	1			0	2				4
TRAIN TO PROVIDE T		英語3	1前後		1		0	1				
コミュニケーション英語3 1後 1		コミュニケーション英語1	1前	1			1		1			2
フランス語 I 1前後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				1			1		1			1
フランス語Ⅲ 2後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1					1		1		0			
フランス語皿 2後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1												
ドイツ語 I I前後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1												
ドイツ語 I							_	1				
ドイツ語皿 2後 1<												
イタリア語 I ini後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1												
イタリア語 1前後							'	1				
イタリア語皿 2後 1												
中国語 I 1前 1 中国語 II 1後 1 中国語 II 16 1 中国語 II 1前 2 市業音楽史各論 1後 2 ボップスミュージックシーン ロックミュージックシーン ジャズ 概論 2 1 ジャズ 概論 2 1 大海								-				
中国語 II 1後 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								•				1
中国語皿 2後 1 音楽の世界 1前 2 10 3 空楽できる論 1後 2 1 本ップスミュージックシーン 2前 2 ジャズ概論 3後 2 舞台芸術概論 1後 2 美術文化各論1 2 1 美術文化各論2 1 美術文化各論3 2 1 美術文化各論4 2 1 美術文化各論4 2 1 美術解剖学 2 1 エコロジーとパリアフリー認知科学 1前 2 ボザインと文化1 1後 2 2 10 3 1 10 3 1 10 3 1 10 3 1 10 3 1 10 3 1 10 2 1 10 2 1 10 2 1 10 2 1 10 3 1 10 3 1 10 1 1 10 1 1 10 1 1 10 1 1 10 1 10												
音楽の世界 1前 2 10 3 1 金字総合 2前 2 1 ウックミュージックシーン学総合 2前 2 1 方々ズ概論 2 1 1 大道 2 1 1 大道 2 1 1 大道 2 1 1 大道 2 1 1 大衛文化各論 2 1 1 大衛文化各論 2 1 1 大衛 3 2 1 1 </td <td></td> <td>中国語Ⅲ</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td>		中国語Ⅲ			1							1
全 ポップスミュージックシーン 2前 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1					2		10	3		1		
学総合共通 1 大選通 1 大選通 1 大選通 1 大選通 1 大選通 1 大選売 2 大選売 1 大選売 2 大調売 2 大選売		西洋音楽史各論	1後		2		1					
総合 共通 科目 大徳 大徳 大徳 大徳 大徳 大徳 大徳 大徳 大徳 大徳	全	ポップスミュージックシーン	2前		2							1
合 共 通 科 目 大 横 所文化各論2 美術文化各論2 美術文化各論3 美術文化各論3 美術文化各論4 美術文化各論4 美術文化各論4 美術文化各論4 美術文化各論4 美術文化各論4 美学 1後 美術文化各論4 美学 1後 美術解剖学 2 1 認知科学 1前 デザインと文化1 1後 2 0		ロックミュージックシーン	2前		2							1
共通	総合	ジャズ概論	3後		2							1
通 美術文化各論1 1後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	共				2		1					
目 デ術文化各論3 2前 2前 2前 2前 2前 2 1後 2 2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 2	通	美術文化各論1	1後		2		1					
大機 大機 大学 1 1 1 大機 大学 1 2 1 1 大術解剖学 2 2 1 1 工コロジーとパリアフリー 1 2 1 1 認知科学 1 1 1 1 デザインと文化1 1 2 2 0			1後									
横断科目 1後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1												
断							1					
日 エコロジーとパリアフリー 1 fin 2 部 記知科学 1 fin 2 デザインと文化1 1後 2 2 0												
群 認知科学 1前 2 デザインと文化1 1後 2 2 0												
デザインと文化1 1後 2 2 0												
	41+							•	0			
/ / I / C 人 I L C 人 T D D D D D D D D D D D D D D D D D D												
		、 / 1~こ人104(不開語/	·政		_			-	v			

25	科目	12 46 7 1 2 2 2 2	配当		单位数					の配		兼 任	科目	123 Mr. 20 - 2 - 20	配当		单位数					の配		1
デザインと文化 2 2 2 1 0 0	区分	授業科目の名称	年					教					区分	授業科目の名称 	年					教				
デザンと文化へ 2種 2 2 1 1 0 1		デザインと文化3	2後	195		Ш		fΧ	Pili	叙	Ŧ	711		デザインと文化3	2前	195		н		fχ	Pili	拟	+	t
現立文字論 19世 2 1 1 1 2 2 1 1 2 2																								
現立文字論 接 2 2 1 1 2 2 3 4 4 4 2 2 4 4 4 4 4		ソーシャルデザイン論			2				1								2			1	0			ı
飲食の必要は必要 19			- 124									1								_				ı
												1												ı
全 子としの急性と解 1 後 2 2 1 2 1 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2 2 2 2												1												ı
学性を搭軸 1後 2 1 1 2 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1	소											3	소											ı
### 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	土学											1												ı
(総											1												ı
2番	合	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					1	2				'							1	4				ı
44 国際社会論																				١.				ı
自分性の担待 1							Ι'					4							Ι'					ı
横幅リテラシー1 は後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1												1												ı
## 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	_	A																						ı
新 麻状 リアン マータ マータ	<i>,</i> 横												横											ı
日 教養と現代2 1 1 1 1 1 1 2 2 1 1	断						١.					1	断				2		١.					ı
禁	科																1							ı
実部リテラシー2 2後 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1	-						1	ĺ	ĺ									ĺ	1	1				ı
日本語リテラシー 1 (後) 2 1 7	群							1	ĺ				群					ĺ		1				ı
日本語リテラン-2 2前 2 1 1 7									1												1			ı
アート・プロジェクト1 前 2 2 3 1 アート・プロジェクト2 1前 2 2 1 1 アート・プロジェクト3 1前 2 1 1 1 大アート・プロジェクト3 1前 2 1 1 大塚保史 1前 2 1 1 大塚保建 1前 2 1 1 大塚保建 1 1前 2 1 1 大塚保建 1 1 大塚保建 2 1 1					2			ĺ	ĺ			1			1後		2	ĺ						ı
アート・プロジェクト2 前前 2 1		日本語リテラシー2	2前		2		1							日本語リテラシー2	2前		2		0					I
アート・プロジェクト3 前前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1		アート・プロジェクト1	1前		2		2	ĺ	ĺ					アート・プロジェクト1	1後		2	ĺ	2					1
アート・プロジェクト3 前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1		アート・プロジェクト2	1前		2			3	1					アート・プロジェクト2	1前		2	ĺ		1	1			١
図字		アート・プロジェクト3							1					アート・プロジェクト3				ĺ		2	0			ı
技術史					_		1					1									Ť			t
情報技術論 1前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1		_ •						ĺ	ĺ			1						ĺ						ı
宗教文化論 1前 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1								ĺ	ĺ									ĺ						١
比較表現論												'							١.					ı
版画実技1							l '												l '					ı
# 選達アート												•		10 1 - 1 - 0 - 0 - 0 - 0										
影刺					2							5												
立体造形 1前 2					2							1			1後		2							ı
前前 2		彫刻	1前		2		2							彫刻	1前		2		1					ı
1		立体造形	1前		2							1		立体造形	1後		2							ı
1		海外研修	1前		2		1							海外研修(未開講)	1前		2		1					ı
1			1前		2		1								1前		2		1					ı
副科実技A-1 1前																								ı
理					2		1								1前		2		1					ı
図学2 1後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1					1		14	3				25			1前		1		8	1				ı
芸術療法 1後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		建築史			2							1		建築史	1前		2		1					
近現代芸術論 1後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		図学2	1後		2							1		図学2	1後		2							
デザイン史 1後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1		芸術療法	1後		2							1		芸術療法	1後		2							
専門科制目/申書 1後 2 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		近現代芸術論	1後		2							1		近現代芸術論	1後		2							
専門科 目 / 専 専門科 目 / 専 専門 共通 1後 1後 2 1後 2 1後 2 1後 2 1後 1 1 2 1 3 1 4 1 4 1 1 4 1 1 4 1 1 1 1 1 1 1 1		デザイン史	1後		2		1							デザイン史	1後		2		1					ı
門	専	絵画論					1						専	絵画論										ı
日本	門											1	門	書道アート2										ı
日	科											1												ı
専門共通 1後 1 14 3 25 専門共通 1後 1 1 1 25 専門共通 1 1 1 25 申別無決技A-2 1後 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 2 1	目						1	ĺ	ĺ				目					ĺ	,					ı
門 共 通	/ =							2	ĺ			25	14					ĺ		4				
共通							14	3	ĺ			Z0						ĺ	8	l '				ı
通	#							ĺ				1						ĺ			,			١
取列編	通						I	ĺ	1									ĺ	l 1	1	1			١
東洋美術史 1前後 2 2 2 2 1前後 2	~=							ĺ	ĺ			1	~					ĺ						١
西洋美術史 1前後 2 1 1 1 4 3 1 1 4 3 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								ĺ	ĺ			1			1前後			ĺ						١
近代美術史 1前後 2 1 1 14 3 2 1 1 14 3 2 1 1 14 3 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		東洋美術史	1前後		2		I					1		東洋美術史	1前後		2							١
造形論 1前後 2 副科実技B-1 1 14 3 副科実技B-2 2後 1 工芸理論 2前 映像とメディア(絵画) 2前 芸術学 2前 会面演習 2前 デザイン教育演習 デザイン理論 2後 現代デザイン論 2後 建築論 2 映像とメディア(デザイン) 近現代彫刻論 2後 1 1 1 1 1 25 副科実技B-1 26 2 20前 2 1 2 26 2 20前 2 20 1 20 2 20 1 20 2 20 1 20 1 20 2 20 1 20 2 20 1 20 2 20 2 20 2 20 <td< td=""><td></td><td>西洋美術史</td><td>1前後</td><td></td><td>2</td><td></td><td></td><td>ĺ</td><td>ĺ</td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td>西洋美術史</td><td>1前後</td><td></td><td>2</td><td>ĺ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>١</td></td<>		西洋美術史	1前後		2			ĺ	ĺ			1		西洋美術史	1前後		2	ĺ						١
造形論 1前後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 3 0 1 3 0 1 3 0 1 3 0 1 3 0 1 3 0 1 3 0 2 1 3 0 1 3 0 2 1 3 0 2 1 3 0 2 1 3 0 2 1 3 0 2 1 3 0 2 2 1 2 2 2 1 2 2 2 2 2 2 1 <t< td=""><td></td><td>近代美術史</td><td>1前後</td><td></td><td>2</td><td></td><td></td><td>ĺ</td><td>ĺ</td><td></td><td></td><td>1</td><td></td><td>近代美術史</td><td>1前</td><td></td><td>2</td><td>ĺ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>١</td></t<>		近代美術史	1前後		2			ĺ	ĺ			1		近代美術史	1前		2	ĺ						١
副科実技B-1 2前 1 14 3 25 副科実技B-1 2前 1 3 0 目科実技B-2 2後 1 1 3 0 目科実技B-2 2後 1 1 3 0 日本							I					1		造形論										١
副科実技B-2 2後 1 14 3 25 1 副科実技B-2 2後 1 26 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		. —					14	3	ĺ									ĺ	3	0				١
工芸理論 2前 映像とメディア(絵画) 2前 芸術学 2前 絵画演習 2前 デザイン教育演習 4 デザイン理論 2後 現代デザイン論 2後 建築論 2 映像とメディア(絵画) 2前 がガイン理論 2後 26 2 現代デザイン論 2後 建築論 2 投機とメディア(デザイン) 2後 2 1 財機とメディア(デザイン) 2後 2 1 財機とメディア(デザイン) 2 近現代彫刻論 2 2 1 1 1 1 1 2 2 2 1 2 2 1 2 1 2 2 2 1 2 2 2 1 2 2 2 1 2 2 2 2 1 2 2 3 2 4 1 5 2 6 2 7 2 8 2 9 2									ĺ									ĺ		1				١
映像とメディア(絵画) 2前 1							l ' [∓]	١											ľ	"				١
芸術学 2前 2 1 芸術学 2前 2 1 0 絵画演習 2前 4 1 2 4 1 0 デザイン教育演習 2前 2 1 ごザイン理論 2 4 2 1 0 現代デザイン論 2後 2 1 2 1 2 1 0 0 現代デザイン論 2後 2 1 2 1 2 1 0 建築論 2後 2 1 2 1 2 1 1 砂像とメディア(デザイン) 2後 2 1 2 2 1 1 砂塊とメディア(デザイン) 2後 2 1 2 2 1 2 近現代彫刻論 2 2 1 2 1 2 2							,	ĺ	ĺ									ĺ						١
絵画演習 2前 4 1 2 デザイン教育演習 2前 4 1 2 デザイン理論 2後 2 1 デザイン理論 2前 2 現代デザイン論 2後 2 1 2 2 1 建築論 2 1 2 2 1 映像とメディア(デザイン) 2後 2 1 2 2 1 近現代彫刻論 2後 2 1 1 近現代彫刻論 2 2 1								ĺ	ĺ									ĺ		l '				١
デザイン教育演習 2前 4 1 デザイン教育演習 2後 2前 2前 2後 2前 2前 3月代デザイン論 26 2章 3月代デザイン論 26 26 2 3月代デザイン 26 3月代彫刻論 26 26 2 3月代彫刻論 26 26 3月代彫刻論 26 2 3月代彫刻論 26 3月代彫刻論 26 3月代彫刻論 26 3月代彫刻論 27 3月代彫刻論 27 3月								_	ĺ									ĺ						ı
デザイン理論 2後 2 1 デザイン理論 2前 2 1 0 現代デザイン論 2後 2 1 2後 2 1 1 2後 2 1 1 0 建築論 2 2 1 2 2 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 2 2 1 1 2 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 2 1 2 2 1 2 2 1 2 2 1 2 2 2 1 2 2 2 1 2 2 2 1 2 2 2 1 2 2 2 1 2 2 2 1 3 2 2 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 4 3 4 3 4 3							1	2	ĺ									ĺ	1	0				١
現代デザイン論 2後 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2					4		I	ĺ	ĺ			1					4	ĺ	I					ı
建築論 2後 2 1 建築論 2後 2 1 映像とメディア(デザイン) 2後 1 映像とメディア(デザイン) 2後 1 近現代彫刻論 2後 2 1 近現代彫刻論 2前 2			2後		2			ĺ	1						2前		2	ĺ		1	0			ı
建築論 2後 2 1 建築論 2後 2 1 映像とメディア(デザイン) 2後 1 映像とメディア(デザイン) 2後 1 近現代彫刻論 2後 2 1 近現代彫刻論 2前 2		現代デザイン論	2後		2		1	ĺ	ĺ					現代デザイン論	2後		2	ĺ	1					ı
映像とメディア(デザイン) 2後 1 映像とメディア(デザイン) 2後 1 近現代彫刻論 2後 2 1 近現代彫刻論 2前 2		建築論			2		I	1	ĺ					建築論			2	ĺ	I	1				ı
近現代彫刻論 2後 2 1 1 近現代彫刻論 <mark>2前</mark> 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		7—717AIII						'	ĺ			1		7-71-180-9				ĺ						١
							I	ĺ	ĺ									ĺ	I					١
								ĺ	ĺ									ĺ	_					ı
		スル社会子	2削		_ 2	1	L^1	L	L					人化社会子	2削	L	_2	L	L ^u	L	L		L	

		配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任			配	<u>i</u>	単位数	女	専	任教	員等	の酉	26
¥目 ≅分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼	科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	Ī
	写真論	2前後	修	択 2	由	授	授	師	教	手	担 1		写真論	2前	修	択 2	由	授	授	師	教	ŧ
	写真演習	2前後		2		1					5		写真演習	2前後		2		0				
	考古学	2前後		2							1		考古学	2前		2						
	演劇・パフォーマンス論	2前後		2							1		演劇・パフォーマンス論	2前後		2						
	工芸教育演習	2前後		4							1		工芸教育演習	2前後		4						
	芸術文化論	2前後		2							1		芸術文化論	2前後		2						
	シナリオ研究	2前後		2							1		シナリオ研究	2前後		2						
	コミュニティ論	2前		2							1		コミュニティ論	2前		2						
	マーケティング	2前		2							1		マーケティング	2前		2						
	サブカルチャー論	3前		2		1							サブカルチャー論	3前		2		1				
	映像論	3前		2							1		映像論	3前		2						
	視覚デザイン論I	3前		2							1		視覚デザイン論I	3前		2						
専	古美術研修	3前		2		1						専	古美術研修	3前		2		1				
門	文化と経済	3前		2							1	門	文化と経済	3前		2						
科 目	社会情報論	3前		2							1	科目	社会情報論	3前		2						
_	社会調査法	3前		2							1	7	社会調査法	3前		2						
専	メディア論	3前		2			1					専	メディア論	3前		2			1			
門	映像演習	3後		2							2	門	映像演習	3後		2						
共通	図像学	3後		2		1						共通	図像学	3後		2		1				
ш.	マンガ表現	3後		2							1		マンガ表現	3後		2						
	生涯学習概論 博物館概論	2後		2							1		生涯学習概論 博物館概論	2前		2						
	1.7 1.02.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1.1	1前		2		1								1前		2		1				
	博物館経営論 博物館資料論	2後		2		1							博物館経営論 博物館資料論	2後		2		1				
	博物館資料保存論 博物館資料保存論	2前		2							1		博物館資料保存論	2前		2						
	博物館展示論	2後 2後		2									博物館展示論	2後		2						
	博物館教育論	2仮 3後		2							1		博物館扱亦編 博物館教育論	2後		2						
	博物館情報・メディア論	3版 3前		2		1					'		博物館情報・メディア論	3後 3前		2		1				
	博物館実習 I	3後		2		l '							博物館実習I	3後		2		'				
	博物館実習Ⅱ	3版 4後		1		1					1		博物館実習Ⅱ	3版 4後		1		1				
	現代美術演習	3前後		2		l '					1		現代美術演習	3前後		2		'				
	芸術計画演習	3前		2		1					'		芸術計画演習	3前		2		1				
	考古学演習	2後		2		l '					1		考古学演習	2後		2		'				
	ビジュアルリテラシー1	1前		2							1		ビジュアルリテラシー1	1前		2						-
	ビジュアルリテラシー2	1後		2							1		ビジュアルリテラシー2			2						
	サウンドリテラシー1	1前		2							1		サウンドリテラシー1	1前		2						
専	サウンドリテラシー2	1後		2							1	専	サウンドリテラシー2	1後		2						
門科	視覚文化	1前		2		1						門科	視覚文化	1前		2		1				
* }	異文化体験	1前		2		Ů	1					目目	異文化体験	1後		2		·	1			
-	サウンド文化	1後		2							1	7	サウンド文化	1後		2						
湏	地域文化論	2前		2							1	領	地域文化論	2前		2						
或	芸術教養レビュー1	2前		1		1	1					域	芸術教養レビュー1	2前		1		1	1			
共通	プロジェクト1	2前		2		1						共通	プロジェクト1	2前		2		1				
	プロジェクト2	2後		2		1							プロジェクト2	2後		2		1				
芸	教養と地域文化1	2前		1			1					芸	教養と地域文化1	2前		1			1			
村	教養と地域文化2	2前		1			1					術	教養と地域文化2	2前		1			1			
牧							l '					教	(未開講) 教養文化と職業1						l '			
雯	教養文化と職業1	2後		1		1						食	教養文化と職業2	2後		1		1				
	教養文化と職業2	2後		1		1							(未開講)	2後		1		1				
	情報と芸術	2後		2		1							情報と芸術	2後		2		2				
	音楽芸術基礎研究	1前		2		4	3						音楽芸術基礎研究	1前		2		8	1			
	マーチング実習1	1前		1							1		マーチング実習1	1前		1						
	劇場機構基礎演習	1前		2							1		劇場機構基礎演習	1前		2						
	音楽療法概論	1前		2			1					1	音楽療法概論	1前		2			1			
専門	アートマネジメント概論	1前		2		1						専	アートマネジメント概論	1前後		2		1				
] 斗	マルチメディアコンテンツ1	1前		1							1	門科	マルチメディアコンテンツ1	1前		1						
Ī	マルチメディアコンテンツ2	1後		1							1	目	マルチメディアコンテンツ2	1後		1						
/	録音音響デザイン研究1	1前		4			1					/	録音音響デザイン研究1	1前		4		1	1			
Į	録音音響デザイン研究2	1後		4			1					領	録音音響デザイン研究2	1後		4		1	1			
ţ ⊦	アートマネジメント英語1-1	1前		2							1	域共	アートマネジメント英語1-1	1前		2		1				
ŧ	アートマネジメント英語1-2	1後		2							1	通	アートマネジメント英語1-2	1後		2		1				
_	ノートリーディング I	1前		2							1	/	ノートリーディング I	1前		2			1			
Ŧ	ノートリーディング Ⅱ	1後		2							1	音	ノートリーディング Ⅱ	1後		2			1			
Ę	音楽ケアデザイン各論1	1前		2			1					楽	音楽ケアデザイン各論1	1後		2			1			
	音楽ケアデザイン各論2	1前		2		1							音楽ケアデザイン各論2	1前		2		0	1			
	音楽ケアデザイン各論3	1前		2			1						音楽ケアデザイン各論3	1前		2			1			
	臨床医学1	1前		2							1		臨床医学1	1前		2			١.			
	臨床医学2	1後		2			ĺ	ĺ	Ī	ĺ	1	I	臨床医学2	1後		2			1			

兼任・兼担

		配	į	単位数	数	専	任教	(員等	の配	置	兼任			配	È	单位数	女	専	任教	[員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	住 · 兼	科 E 区 5	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	・兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担			次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	室内楽基礎2 室内楽 I -1	1後 1前		1		3	1						室内楽基礎2 室内楽 I -1	1後 1前		1		6 6	1 0				2
	室内楽 I -2	1後		1		3	1						室内楽 Ⅰ -2	1後		1		6	0				2
	合奏 I −1	1前		1		3	1				1		合奏 I −1	1前		1		6	1				7
	合奏 I −2	1後		1		3	1				1		合奏 I −2	1後		1		6	1				7
	演奏実習 I -1	1前		1		14	3				26		演奏実習 I -1	1前		1		1					2
	演奏実習 I-2 舞踊表現・バレエ1	1後 1前		1		14	3				26		演奏実習 I-2 舞踊表現・バレエ1	1後 1前		1		1					2 1
	舞踊表現・バレエ2	1後		1							1		舞踊表現・バレエ2	1後		1							1
	ダンス実技 I −1	1前		1							1		ダンス実技 Ⅰ -1	1前		1							1
	ダンス実技 I −2	1後		1							1		ダンス実技 I −2	1後		1							1
	和声学 I -1	1前		2		1					1		和声学 I -1	1前		2		1	1				2
	和声学 I -2	1後		2		1					1		和声学 I -2	1後		2		1	1				2
	ソルフェージュ実習 I -1 ソルフェージュ実習 I -2	1前 1後		1		1					1		ソルフェージュ実習 I -1 ソルフェージュ実習 I -2	1前 1後		1		1	1				3
	ピアノI-1	1前		1		6	1				7		ピアノI‐1	1前		1		4	'		1		10
	ピアノ I -2	1後		1		6	1				7		ピアノ I -2	1後		1		4			1		10
	声楽実習 I -1	1前		1		3					3		声楽実習 I -1	1前		1		2					7
	声楽実習 I −2	1後		1		3					3		声楽実習 I −2	1後		1		2					7
	合唱1-1	1前		1							1		合唱1-1	1前		1							1
	合唱1-2 西洋音楽史概論	1後 1後		1 2		1					'		合唱1-2 西洋音楽史概論	1後 1前		1 2		1					1
	音楽通論	1前後		2		l					2		音楽通論	1前後		2		1	1				1
	邦楽(歌唱)	1前後		1							1		邦楽(歌唱)	1前後		1							1
	邦楽(和楽器)	1前後		1							1		邦楽(和楽器)	1前後		1							1
	民族音楽研究	1前後		2		1					_		民族音楽研究	1前後		2		1					
	サウンドメディア基礎演習 ステージマネジメント I	1通 1通		8		1					2		サウンドメディア基礎演習 ステージマネジメント I	1通 1通		4 8		1 2			1		3
専	音楽ケアデザイン	1通		4		l '	,				۷	車	音楽ケアデザイン	1通		4		_	1		'		ľ
門	ワークショップ1 音楽ケアデザイン			4			1					門	ワークショップ1 音楽ケアデザイン			4			'				
科口	ワークショップ2	1通		4			1					科 目	ワークショップ2	1通		4			1				
目/	音楽ケアデザイン ワークショップ3	1通		4		1						H /	音楽ケアデザイン ワークショップ3(未開講)	1通		4		0					1
領	音楽表現実技I	1通		8		14	3				27	領	音楽表現実技 I	1通		8		14	1				38
域共	総合音楽実技1	1通		8		14	3				27	域	総合音楽実技1	1通		8		14	1				38
通	障害児教育	2前		2							1	通	障害児教育	2前		2							1
音	マーチング実習2 音楽と教育	2前 2前		2		2					1	音	マーチング実習2 音楽と教育	2前 2前		1 2		1]]
楽	日来と教育 器楽基礎研究1	2前		1		3	1					楽	器楽基礎研究1	2前		1		2	0				
	音楽心理学	2前		2		1							音楽心理学	2前		2		0	-	1			
	社会福祉概論	2前		2							1		社会福祉概論	2前		2							1
	発達心理学	2前		2		١.	1						発達心理学	2前		2			0				1
	スコアリーディング演習 ショ ー ビジネス	2前 2前		2		1							スコアリーディング演習 ショービジネス	2前 2前		2		1					
	音楽制作基礎演習1	2前		2		l '					1		音楽制作基礎演習1	2前		2		2					1
	音楽制作基礎演習2			2							1		音楽制作基礎演習2	2後		2		2					1
	録音音響デザイン実習 I -1	2前		2			1						録音音響デザイン実習 I -1	2前		2			1				1
	録音音響デザイン実習 I-2	2後		2			1						録音音響デザイン実習 I-2	2後		2			1				1
	アートマネジメント英語2-1 (テクニカル用語含む)	2前		2							1		アートマネジメント英語2-1 (テクニカル用語含む)	2前		2		1					0
	アートマネジメント英語2-2 (テクニカル用語含む)	2後		2							1		アートマネジメント英語2-2 (テクニカル用語含む)	2後		2		1					0
	ステージコミュニケーション1	2前		2		1							ステージコミュニケーション1	2前		2		0					1
	ステージコミュニケーション2	2後		2							1		ステージコミュニケーション2	2後		2							1
	トータルステージインフォメーション	2前		2							1		トータルステージインフォメーション	2前		2							1
	臨床心理1 臨床心理2	2前		2							1		臨床心理1 臨床心理2	2前		2							1
		2後 2前		2							1		画床心理2 合唱2-1	2後 2前		2							1
	合唱2-2	2後		1							1		合唱2-2	2後		1							1
	初見奏法1	2前		1		1							初見奏法1(未開講)	2前		1		1					
	初見奏法2	2後		1		1							初見奏法2(未開講)	2後		1		1					
	チェンバロ奏法1	2前		1							1		チェンバロ奏法1	2前		1							1
	チェンバロ奏法2 伴奏法 I -1	2後 2前		1							1		チェンバロ奏法2 伴奏法 I -1	2後 2前		1							1
	件奏法 I −2	2後		1							1		件奏法 I −2	2後		1							1
	ピアノ重奏法1	2前		1		1							ピアノ重奏法1	2前		1		1					
	ピアノ重奏法2	2後		1		1							ピアノ重奏法2	2後		1		1					
	室内楽Ⅱ-1	2前		1		3	1						室内楽Ⅱ-1	2前		1		5	0				2
	室内楽Ⅱ-2	2後		1		3	1						室内楽Ⅱ-2	2後		1		5	0				2
	合奏Ⅱ-1	2前		1		3	1				1		合奏Ⅱ-1	2前		1		6	1				7
	合奏 Ⅱ -2	2後		1	l	3	1	l	ĺ		1	l	合奏 Ⅱ −2	2後		1		6	1	İ	l	l	7
												9											

		配	į	単位数	汝	専	任教	[員等	の配	置	兼任	1 [配	È	单位数	女	専	任教	[員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	・兼		科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
	ポップス・ロック論1	次	修	択	由	授	授	師	教	手	担			ポップス・ロック論1	次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	ポップス・ロック論1	2前 2後		2		1								ポップス・ロック論1	2前 2後		2		1					
	演奏実習Ⅱ-1	2前		1		14	3				27			演奏実習Ⅱ-1	2前		1		0	0				2
	演奏実習Ⅱ-2	2後		1		14	3				27			演奏実習Ⅱ-2	2後		1		0	0				2
	アクティング I -1	2前		1							1			アクティング I -1	2前		1							1
	アクティング I -2	2後		1							1			アクティング I -2	2後		1							1
	ダンス実技 II −1 ダンス実技 II −2	2前		1							1			ダンス実技 II −1 ダンス実技 II −2	2前		1							1
	和声学Ⅱ-1	2後 2前		1 2		2					'			和声学Ⅱ-1	2後 2前		1 2		1	1				2
専	和声学Ⅱ-2	2後		2		2							専	和声学Ⅱ-2	2後		2		ľ	i				2
門科	ソルフェージュ実習 Ⅱ-1	2前		1		1					1		門科	ソルフェージュ実習 Ⅱ-1	2前		1		1	1				2
目	ソルフェージュ実習 Ⅱ-2	2後		1		1					1		目	ソルフェージュ実習 Ⅱ-2	2後		1		1	1				2
/	ピアノⅡ-1	2前		1		6	1				7		/	ピアノⅡ-1	2前		1		3	0		1		10
領域	ピアノⅡ-2	2後		1		6	1				7		領域	ピアノⅡ-2	2後		1		3	0		1		10
共	声楽実習Ⅱ-1	2前		1		3					3		共	声楽実習Ⅱ-1	2前		1		0					6
通	声楽実習 Ⅱ -2 スコアリーディング I	2後 2前		1 2		3					3		通	声楽実習 Ⅱ-2 スコアリーディング I	2後 2前		1		0					6
音	スコアリーディングⅡ	2後		2		1							音	スコアリーディングⅡ	2刊 2後		2		0					H
<u>·</u> 楽	器楽合奏 I	2前		1		ľ	1						<u>·</u> 楽	器楽合奏 I	2前		1		1	0				Ι΄.
	器楽合奏Ⅱ	2後		1			1							器楽合奏Ⅱ	2後		1		1	0				
	マルチメディアアート (音と映像の融合)1	2後		1							1			マルチメディアアート (音と映像の融合)1	2後		1							1
	器楽基礎研究2	2後		1		2	1							器楽基礎研究2	2後		1		2	0				
	ショービジネス研究	2後		2		1								ショービジネス研究	2後		2		1					
	日本音楽研究	2前後		2		1								日本音楽研究	2前後		2		1					
	音楽情報処理入門	2前後		2							1			音楽情報処理入門	2前後		2							1
	サウンドメディア応用演習 I	2通		4		1					2			サウンドメディア応用演習 I	2通		4		1					3
	ステージマネジメントⅡ	2通		8		2					2			ステージマネジメントⅡ	2通		8		2			1		3
	音楽表現実技Ⅱ 総合音楽実技2	2通 2通		8		14 14	3				27 27			音楽表現実技 II 総合音楽実技2	2通 2通		8		14 14	1				38 38
	クロッキー	2迪 1前		2		1	3				21	1 1		クロッキー	2週 1前		2		2	•				30
	洋画技法	1前		2		6								洋画技法	1前		2		1					
	日本画実技 I -1	1前		4		-	1				1			日本画実技 I -1	1前		4			1				1
	日本画実技 I -2	1前		4			1				1			日本画実技 I -2	1前		4			1				1
	日本画実技 I -3	1後		4			1				1			日本画実技 I -3	1後		4			1				1
	日本画実技 I -4	1後		4		_	1				1			日本画実技 I -4	1後		4			1				1
	洋画実技 I -1 洋画実技 I -2	1前		4		2					4			洋画実技 I -1 洋画実技 I -2	1前		4		2					3
	注画実技 I -3	1前 1後		4		2					4			洋画実技 I -3	1前 1後		4		1					3 5
	洋画実技 I -4	1後		4		2					4			洋画実技 I -4	1後		4		i					5
	美術実技 I -1(ドローイング	1前		2		1	1							美術実技 I -1(ドローイング	1前		2		0	2				
	/アイデアとエスキース) 美術実技 I -2(クリエイター研究													/アイデアとエスキース) 美術実技 I -2(クリエイター研究										
	/ボートフォリオ制作演習)	1後		2		1	1							/ポートフォリオ制作演習)	1後		2		0	1				
専	デッサン I	1前		2			١.				2		専	デッサン I	1前		2			1				1
門町	デッサン II 近現代日本画表現1	1後 1前		2		1	1				1		門	デッサン II 近現代日本画表現1	1後		2		0	1				1
科目	近現代日本画表現2	1後		2		1							科目	近現代日本画表現2	1前 1後		2		0	1				
/	メディア表現1	1前		2		'					1		/	メディア表現1	1後		2		ľ	•				1
領域	メディア表現2	1後		2							1		領 域	メディア表現2	1前		2							1
共	陶芸技法1	1前		2							1		共	陶芸技法1	1前		2							1
通	陶芸技法2	1後		2							1		通	陶芸技法2	1後		2							1
美	ガラス技法1	1前		2							1		美	ガラス技法1	1前		2							1
術	ガラス技法2 絵画素描演習	1後 1後		2		1					1		術	ガラス技法2 絵画素描演習	1後 1後		2		1					l 1
		1仮 1後		2		1								松回糸畑浜白 ドローイング	1仮 1後		2		1					
	版画実技2	1後		2		l					6			版画実技2	1後		2		l					5
	美術研修	1後		2		1								美術研修	1後		2		1					اً
	美術実技 I-3(日本画)	1後		2			1							美術実技 I-3(日本画)	1前後		2			1				
	美術実技 I -4(油彩)	1前後		2							2			美術実技 I -4(油彩)	1前後		2							2
	美術実技 I −5 (彫塑/マケット)	1前後		2		2								美術実技 I -5 (彫塑/マケット)	1前後		2		2					
	美術実技 I -6(陶芸)	1前後		2							1			美術実技 I -6(陶芸)	1前後		2							1
	美術実技 I -7(ガラス)	1前後		2							1			美術実技 I -7(ガラス)	1前後		2							2
	美術実技 I -8 (プリント&ソーイング)	1前後		2							1			美術実技 I -8 (プリント&ソーイング)	1後		2							1
	美術演習 I -1(美術文化1)	1前後		2		1								美術演習 I -1(美術文化1)	1前		2		1					
	美術演習 I -2(美術文化2)	1前後		2							1			美術演習 I-2(美術文化2)	1後		2							1
	石彫技法	1前後		2							1			石彫技法	1後		2							1
	木彫技法	1前後		2		1						1		木彫技法	1前後		2		1					
	ワークショップ演習	2前		2				1						ワークショップ演習	2後		2				1			
	プロジェクト演習	2前		2		1								プロジェクト演習	2前		2		0					1
												10												

		配	j	単位数	数	専	任教	員等	の配	置	兼任	1 [配	È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼		科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担				次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	美術実技Ⅱ-1	2前		2		1					3			美術実技Ⅱ-1	2前		2		1					2
	美術実技Ⅱ-2 美術実技Ⅱ-3	2前 2前		2		2	1				2			美術実技 II -2 美術実技 II -3	2前 2前		2		0	0				2 2
	美術実技Ⅱ-4	2前		2		2					2			美術実技Ⅱ-4	2 前後		2		0					3
	美術実技Ⅱ-5	2後		2		2	1				1			美術実技Ⅱ-5	2前後		2		1	0				2
	美術実技Ⅱ-6	2後		2							3			美術実技Ⅱ-6	2後		2							2
	美術実技Ⅱ-7	2後		2							2			美術実技Ⅱ-7	2後		2			1				2
	美術実技Ⅱ-8	2後		2							1			美術実技Ⅱ-8	2前後		2							2
	美術実技Ⅱ-9	2後		2		1	1							美術実技Ⅱ-9(未開講)	2後		2		0	1				
専	デザイン実技1 デザイン実技2	2前 2前		2							1		専	デザイン実技1 デザイン実技2	2前 2後		2							1
門科	デザイン実技3	2後		2							1		門科	デザイン実技3	2版 2前		2							
目	デザイン実技4	2後		2							1		目	デザイン実技4	2後		2							1
/ N#	美術演習Ⅱ-1	2隔週		2		1							/	美術演習Ⅱ-1	2前		2		1					4
領域	美術演習Ⅱ-2	^{通年} 2前		2		1							領域	美術演習Ⅱ-2	2後		2		' '					
共	美術演習Ⅱ-3					1							共	美術演習Ⅱ-3										
通		2後		2		1							通		2隔週 通年		2		0	1				
美	美術演習Ⅱ-4 美術文化演習 I-1	2前		2							1		美	美術演習 II -4 美術文化演習 I -1	2後		2							1
術	美術文化演習 I -2	2前 2後		2		1							術	美術文化演習 I -2	2前 2後		2		1					
	日本画実技 II -1	2前		8		l '					3			日本画実技 II -1	2前		8		ľ					2
	日本画実技Ⅱ-2	2後		8							2			日本画実技Ⅱ-2	2後		8							2
	洋画実技Ⅱ-1	2前		8		1					5			洋画実技Ⅱ-1	2前		8		1	1				3
	洋画実技Ⅱ-2	2後		8		1					5			洋画実技Ⅱ-2	2後		8		1	1				2
	美術史研究 I 鋳造技法	2後 2後		2		1					1			美術史研究 I 鋳造技法	2後 2後		2		1					1 1
	金属加工技法	2後 2後		2		l '					1			金属加工技法	2後 2後		2		'					1
	絵画技法材料論1	2前後		2		1					'			絵画技法材料論1	2前		2		1					
	絵画技法材料論2	2後		2		1								絵画技法材料論2	2後		2		1					
	テラコッタ技法	2前後		2							1			テラコッタ技法	2前		2							1
	版画史	2後		2							1			版画史	2前		2							1
	乾漆技法 デザイン概論	2通 1前		2				2			1	!		乾漆技法(未開講)	2通 1前		2				-			1
	文学史	1前 1前		2		1								文学史	· 刖 1前		2		1	1	1			
	デザイン実技 I -1	1前		2		1	1	3			3			デザイン実技 I -1	1前		2		1	3	2			3
	デザイン実技 I −2	1前		2		4	1	1			2			デザイン実技 I −2	1前		2		1	2	2			4
	デザイン実技 I −3	1後		2		2	1	1			4			デザイン実技 I −3	1後		2		3	2	1			3
	デザイン実技 I -4	1後		2			2	2			4			デザイン実技 I -4	1後		2		2	3	1			3
	デザイン基礎演習A デザイン基礎演習B	1前		2		1								デザイン基礎演習A デザイン基礎演習B	1前		2		1					
	デザイン基礎演習C			2		1								デザイン基礎演習C			2		0		1			
	デザイン基礎演習D	1後		2		l '					1			デザイン基礎演習D	1前		2		1		'			0
	デザイン基礎演習E	1後		2		1								デザイン基礎演習E	1前		2		0	1				
専	デザイン基礎演習F	1後		2		1							専	デザイン基礎演習F	1前		2		0	1	1			
門科	レビュー I	1後		2		10	6	4					門科	レビュー I	1後		2		10	7	2			
目	レビュー II 文芸実技 I -1(小説創作)	2後		2		10	6	4					目	レビュー Ⅱ 文芸実技 I -1(小説創作)	2後		2		10	7	2			
/	文芸実技 I -2	1前		2		1							/	文芸実技 I -2	1前		2		0	١.	1			
領域	(絵本・児童文学創作)	1前		2			1						領域	(絵本・児童文学創作)	1前		2			1				
共	文芸実技 I -3 (キャッチコピー創作)	1前		2		1							共	文芸実技 I -3 (キャッチコピー創作)	1前		2		1					
通	文芸実技 I -4(小説創作)	1後		2		1							通	文芸実技 I -4(小説創作)	1後		2		0		1			1
デ	文芸実技 I -5 (絵本·児童文学創作)	1後		2			1						デ	文芸実技 I -5 (絵本·児童文学創作)	1後		2			1				
ザ	文芸実技 I -6	1後		2		1							ザ	文芸実技 I -6	1後		2		0		1			
イン	(キャッチコピー創作) 雑誌編集法	1後		2		[']					1		イン	(キャッチコピー創作) 雑誌編集法	1後		2		ľ		ļ .			1
ľ	本 応 補 未 広 コンピュータ表現基礎	I 1 友 1前後		2							4			本応補未法 コンピュータ表現基礎	1 1 友 1前後		2							4
	デザイン演習 I	2前		2		1	3	1			4			デザイン演習 I	2前後		2		2	2	1			5
	観察学·考現学	2前		2							1			観察学•考現学	2前		2							1
	デザインワークショップ	2前		2			1							デザインワークショップ	2前		2			1				
	印刷論	2前		2			1							印刷論	2前		2			1				
	材料学 工芸制作	2前		2		1					_			材料学	2前		2		1					
	土云	2前 2前		2		1					3			工芸制作(未開講) 染織技法材料	2前 2前		2		1					3
	工芸技法材料	2前		2		Ι΄					1			工芸技法材料	2前 2前		2		l					1
	デザイン実技 Ⅱ-1	2前		2		6	2	1						デザイン実技 Ⅱ-1	2前		2		7	4	0			1
	デザイン実技 Ⅱ-2	2前		2		1					9			デザイン実技 Ⅱ-2	2前		2		1		1			8
	デザイン実技 Ⅱ -3	2後		2		2	2	1			5	1		デザイン実技 Ⅱ -3	2後		2		1	3	0			6
	デザイン実技 Ⅱ4	- 124		2		3	1	1			6			デザイン実技 Ⅱ -4	2後		2		3	1	1			7
専	製品企画論A	2前		2		1							専	製品企画論A	2前		2		1					1

		配		単位数	数	専	任教	(員等	の配	置	兼任	l [配	Ì	单位数	汝	専	任教	[員等	の配	置	兼任
科目 区分		当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼		科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
門	製品企画論B	2後	修	択 2	由	授	授	師	教	手	担 1		門	製品企画論B	2後	修	択 2	由	授 1	授	師	教	手	担 1
科	建築企画論1-a(法規)	2後		1							1		科	建築企画論1-a(法規)	2後		1		·					1
目	建築企画論1-b(生産)	2後		1							1		目	建築企画論1-b(生産)	2後		1							1
領	文芸実技Ⅱ-1(小説創作)	2前		2		1							領	文芸実技Ⅱ-1(小説創作)	2後		2		0		1			
域	文芸実技Ⅱ-2(戯曲創作)	2前		2		1							域	文芸実技Ⅱ-2(戯曲創作)	2前		2		0		1			1
共通	文芸実技Ⅱ-3(小説創作) 文芸実技Ⅱ-4	2後		2		1	١.						共通	文芸実技Ⅱ-3(小説創作) 文芸実技Ⅱ-4	2後		2		1					
/	(日本語プレゼン)	2後		2			1						7	(日本語プレゼン)	2前		2			1				
デザ	文芸演習 I -1 (西欧特殊文化)	2前		2		1							デザ	文芸演習 I -1 (西欧特殊文化)	2前		2		1					
イ	文芸演習 I-2 (英語プレゼン)	2後		2		1							イ	文芸演習 I -2 (英語プレゼン)	2後		2		1					
ン	金属技法材料	2後		2			1						ン	金属技法材料	2後		2			1				
	セラミック技法材料	2後		2							1			セラミック技法材料	2後		2							1
	デザインインターンシップ	2前後		2		1								デザインインターンシップ	2前後		2		1					
	芸術と科学	3前		2							1			芸術と科学テクスト文化	3前		2							1
	芸術と社会	3前 3前		2 2		1					١,			芸術と社会	3前 3前		2		1					,
	芸術の記号論	3前		2		1					l			芸術の記号論	3前		2		1					i ' I
	現代文化と思想	3前		2							1			現代文化と思想	3前		2							1
	身体と言葉の表現	3前		2							1			身体と言葉の表現	3前		2							1
	セミナー1	3前		2		_	1							セミナー1	3前		2			1				
	芸術教養レビュー2	3前 3後		1 2		2					1			芸術教養レビュー2	3前 3後		1 2		1					1
	英語プレゼンテーション	3後		2		1					Ι΄			英語プレゼンテーション	3後		2		1					
	ムービー制作	3後		2							1			ムービー制作	3後		2		Ė					1
	ビジュアルプログラミング	3後		2							1			ビジュアルプログラミング	3後		2							1
	セミナー2	3後		2			1							セミナー2	3後		2			0				1
	セミナー3 マルチメディアアート	4前		2		1	1							セミナー3 マルチメディアアート	4前		2		1	1				
	(音と映像の融合)2	3前		1							1			(音と映像の融合)2	3前		1							1
	医学概論	3前		2							1			医学概論	3前		2							1
	介護概論	3前		2			١.				1			介護概論	3前		2							1
	音楽療法1 マーチング実習3	3前 3前		2			1				1			音楽療法1 マーチング実習3	3前 3前		2			1				,
	ピアノ応用実習Ⅰ	3前				2					3			ピアノ応用実習I	3前		1		2					3
	ジャズ・ポップス論	3前		2		1					ľ			ジャズ・ポップス論	3前		2		1					ľ
#	器楽応用研究1	3前		1		1	1						#	器楽応用研究1	3前		1		2	0				
専門	指揮法演習	3前		2							1		専門	指揮法演習	3前		2							1
科	20世紀音楽と電子メディア 楽式論	3前		2							1		科	20世紀音楽と電子メディア	3前		2							1
目	栄丸調 ピアノ応用実習Ⅱ	3前		2		1							目	楽式論 ピアノ応用実習Ⅱ	3前		2							
領	(伴奏法を含む)	3前		1		2					3		領	(伴奏法を含む)	3前		1		2					3
域展	オーケストレーション演習1 オーケストレーション演習2	3前		2		1							-24	オーケストレーション演習1 オーケストレーション演習2	3前		2		1					
開開	音楽制作実習 I -1	3後 3前		2		1 2					1		開	音楽制作実習 I -1	3後 3前		2		1 2					1
	音楽制作実習 I -2			1		2					1			音楽制作実習 I -2	3後		1		2					1
	コンポジション I -1	3前		2		1								コンポジション I -1	3前		2		1					
	コンポジション I -2	- 124		2		1								コンポジション I -2			2		1					
	録音音響デザイン実習Ⅱ-1	3前		2			1							録音音響デザイン実習Ⅱ-1	3前		2			1				
	録音音響デザイン実習 II -2 施設実習1	3後 3前		2		1	1							録音音響デザイン実習 II -2 施設実習1	3後 3前		2		1	1				
	施設実習2	3後		2		1								施設実習2	3後		2		1					
	オペラ研究 I −1	3前		2		1								オペラ研究 I −1	3前		2		1					
	オペラ研究 I −2	3後		2		1								オペラ研究 I −2	3後		2		1					
	声優技術基礎実習1	3前		1							1			声優技術基礎実習1	3前		1							1
	声優技術基礎実習2 伴奏法 Ⅱ-1	3後 3前		1							1			声優技術基礎実習2 伴奏法 II -1	3後 3前		1							1
	伴奏法Ⅱ-2	3後		1			1							件奏法Ⅱ-2	3後		1							
	ピアノ演奏解釈1	3前		1		1	'							ピアノ演奏解釈1	3前		1		1					
	ピアノ演奏解釈2	3後		1		1								ピアノ演奏解釈2	3後		1		1					
	合奏Ⅲ-1	3前		1		3	1				1			合奏Ⅲ-1	3前		1		4	0				1
1	合奏Ⅲ-2	3後		1		3	1				1			合奏Ⅲ-2	3後		1		4	0				1
	室内楽Ⅲ-1 室内楽Ⅲ-2	3前 3後		1		3	1							室内楽Ⅲ-1 室内楽Ⅲ-2	3前 3後		1		4	0				
	ポリオーマンス論1	3前		2		1	'							デバネエ-2 パフォーマンス論1	3前		2		1	١				
	パフォーマンス論2			2		1								パフォーマンス論2	3後		2		1					
	アクティング Ⅱ -1	3前		1		1								アクティング Ⅱ -1	3前		1		1					
	アクティング Ⅱ -2	3後		1		1								アクティング Ⅱ -2	3後		1		1					
	演奏実習Ⅲ-1	3前		1							1			演奏実習Ⅲ-1	3前		1							1
	演奏実習Ⅲ-2	3後		1							1			演奏実習Ⅲ-2	3後		1							1
1	ダンス実技Ⅲ-1	3前	I	1			l	J	l		l 1	l l		ダンス実技Ⅲ-1	3前		1				l			1 1

		配	j	単位数	数	専	任教	員等	の配	,置	兼任	1 Г			配	È	单位数	数	専	任教	[員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准 教 :	講	助	助	兼		科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
	ダンス実技Ⅲ-2	3後	修	択 1	由	授	授	師	教	手	<u>担</u>	▎▕		ダンス実技Ⅲ-2	3後	修	択 1	由	授	授	師	教	手	担 1
	作曲法実習 I	3前		1		1					1			作曲法実習 I	3前		1		1					1
	作曲法実習Ⅱ	3後		1		1					1			作曲法実習Ⅱ	3後		1		1					1
	和声学皿-1 和声学皿-2	3前		2		1								和声学皿-1	3前		2		1					
	州戸子皿-2 ソルフェージュ実習Ⅱ-1	3後 3前		2		1								和声学Ⅲ-2 ソルフェージュ実習Ⅲ-1	3後 3前		2		1					
	ソルフェージュ実習皿-2	3後		1		1								ソルフェージュ実習Ⅲ-2	3後		1		1					
	声楽歌唱法	3前後		2		2								声楽歌唱法	3前後		2		2					
	劇場と舞台	3後		2		1								劇場と舞台	3後		2		1					
	ジャズダンス研究	3後		2		١.					1			ジャズダンス研究	3後		2		١,					1
	楽曲分析 対位法	3後 3後		2 2		1								楽曲分析 対位法	3後 3後		2		1					
	編曲法演習	3後		2		1								編曲法演習	3後		2		1					
	サウンドメディア応用演習 I	3通		4							2			サウンドメディア応用演習 II	3通		4							2
	ステージマネジメントⅢ	3通		8		1					2			ステージマネジメント皿	3通		8		1					2
	音楽ケアデザイン1	3通		4			1							音楽ケアデザイン1	3通		4			1				
	音楽療法2 音楽表現実技Ⅲ	3通 3通		8		14	3				25			音楽療法2 音楽表現実技Ⅲ	3通 3通		4 8		16	0				26
	総合音楽実技3	3通		8		14	3				27			総合音楽実技3	3通		8		16	0				28
	劇場機構応用演習	4前		2			_				1			劇場機構応用演習	4前		2							1
	マーチング実習4	4前		1							1			マーチング実習4	4前		1							1
	器楽応用研究2	4前		1		1	1							器楽応用研究2	4前		1		2	0				
	コンポジション Ⅱ -1 コンポジション Ⅱ -2	4前 4後		2 2		1								コンポジション II -1 コンポジション II -2	4前 4後		2		1					
	コンハンフョン Ⅱ -2 録音音響デザイン実習Ⅲ-1	4版 4前		2		l '	1							コンハンフョン Ⅱ -Z 録音音響デザイン実習Ⅲ-1	4版 4前		2		l '	1				
	録音音響デザイン実習Ⅲ-2			2			1							録音音響デザイン実習Ⅲ-2	4後		2			1				
=	施設実習3	4前		2		1							=	施設実習3	4前		2		1					
専門	施設実習4	4後		2		1							専門	施設実習4	4後		2		1					
科	オペラ研究Ⅱ-1	4前		2		1					1		科	オペラ研究Ⅱ-1	4前		2		1					1
目/	オペラ研究 II -2 キーボードハーモニー1	4後 4前		2		1							目	オペラ研究 II -2 キーボードハーモニー1	4後 4前		2		1					'
領	キーボードハーモニー2	4後		1		1							領	キーボードハーモニー2	4後		1		1					
域展	合奏Ⅳ-1	4前		1		3	1				1		域 展	合奏Ⅳ-1	4前		1		4	0				1
開	合奏Ⅳ-2	4後		1		3	1				1		茂開	合奏Ⅳ-2	4後		1		4	0				1
	室内楽IV-1	4前		1		3	1							室内楽Ⅳ-1	4前		1		4	0				
	室内楽Ⅳ-2 アクティングⅢ-1	4後 4前		1		3	1				1			室内楽Ⅳ-2 アクティングⅢ-1	4後 4前		1		4	0				1
	アクティング Ⅲ-2	4後		1							1			アクティング III-2	4後		1							1
	演奏実習Ⅳ-1	4前		1							1			演奏実習Ⅳ-1	4前		1							1
	演奏実習Ⅳ-2	4後		1							1			演奏実習Ⅳ-2	4後		1							1
	ダンス実技Ⅳ-1	4前		1							1			ダンス実技Ⅳ-1	4前		1							1
	ダンス実技IV-2 音楽制作実習 II-1	4後 4前		1		2					1			ダンス実技IV-2 音楽制作実習 II-1	4後 4前		1		2					1
	音楽制作実習Ⅱ-2			1		2					1			音楽制作実習 II -2	4刑 4後		1		2					1
	サウンドメディアプロジェクト			4		-					1			サウンドメディアプロジェクト	4通		4		-					1
	ステージマネジメントⅣ	4通		4		1					2			ステージマネジメントⅣ	4通		4		1					2
	音楽ケアデザイン2	-~		4			1							音楽ケアデザイン2	4通		4			1				
	音楽療法3	4通		4			1							音楽療法3 声優アクティング	4通		4			1				
														表現実技I	4通		8		1					
														声優アクティング 表現実技 II	4通		8		1					
	音楽表現実技IV	4通		8		14	3				25			音楽表現実技Ⅳ	4通		8		16	0				26
	総合音楽実技4	4通		8		14	3				27			総合音楽実技4	4通		8		16	0				28
	美術史研究 Ⅱ 美術実技Ⅲ-1	3前 3前		2 2		3					1			美術史研究Ⅱ 美術実技Ⅲ-1	3前 3前		2		2					1 3
	美術実技皿-2	3前		2		2	1				2			美術実技皿-2	3前		2		2	1				2
	美術実技Ⅲ-3	3前		2		2	1				2			美術実技Ⅲ-3	3前		2		1	1				3
	美術実技Ⅲ-4	3前		2		1	1				3			美術実技Ⅲ-4	3前		2		0	1				4
	美術実技皿-5	3後		2		1					3			美術実技皿-5	3後		2		1					3
	美術実技Ⅲ-6 美術実技Ⅲ-7	3後 3後		2		1 4					3			美術実技Ⅲ-6 美術実技Ⅲ-7	3後 3後		2		0 2					4 2
	美術実技Ⅲ-8	3後		2		1	1				1			美術実技Ⅲ-8	3後		2		0	1				2
	美術実技皿-9	3後		2		1	1				·			美術実技皿-9	3後		2		0	1				1
	美術演習Ⅲ-1	3前		2							1			美術演習Ⅲ-1	3前		2							1
L	美術演習Ⅲ-2	3後	L	2		L	L	L	L	L	1			美術演習Ⅲ-2	3後		2		L					1
	美術演習Ⅲ-3	3前		2		1					1]		美術演習Ⅲ-3	3前		2		0					2
	美術演習Ⅲ-4	3後		2		1					1			美術演習Ⅲ-4	3後		2		0					2
	美術演習Ⅲ-5	3後		2			1				1			美術演習Ⅲ-5	3後		2			1				1
I	美術演習Ⅲ-6	3後	I	2	l	I	l	l	l	J		ı I		美術演習Ⅲ-6	3後		2	l	I	l	l	l	l	1

		配		単位数	数	専	任教	員等	の配	置	兼任			配	Ì	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年次	必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	兼担	科目 区分	授業科目の名称	当年次	必	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	兼担
	美術演習Ⅲ-7	3後	1195	2		1	按	Eili	叙	+	担		美術演習Ⅲ-7	3後	18	2	Щ	0	按	Pili	叙	+	1
	美術文化演習Ⅱ-1	3前		2		1							美術文化演習Ⅱ-1	3前		2		1					
	美術文化演習Ⅱ-2 日本画実技Ⅲ-1	3後 3前		8		1					1		美術文化演習Ⅱ-2 日本画実技Ⅲ-1	3後 3前		2 8		1 2					0
	日本画実技皿-2	3後		8		l	1				2		日本画実技Ⅲ-2	3後		8		1	1				1
	洋画実技Ⅲ-1	3前		8		1					5		洋画実技皿-1	3前		8		1					5
	洋画実技Ⅲ-2	3後		8		1					6		洋画実技Ⅲ-2	3後		8		1					5
	学外演習 I (インターンシップ とワークショップ1)	3通		2		2	1						学外演習 I (インターンシップ とワークショップ1)	3通		2		1	1				1
	美術実技Ⅳ-1	4前		2		2					1		美術実技Ⅳ-1	4前		2		0					3
	美術実技IV-2 美術実技IV-3	4前 4前		2		2					1 2		美術実技IV-2 美術実技IV-3	4前 4前		2		1					2 2
	美術実技Ⅳ-4	4前 4前		4		1	1				2		美術実技Ⅳ-4	4前 4前		4		0	1				3
	美術実技Ⅳ-5	4前		2		1	1						美術実技Ⅳ-5	4前		2		0	1				1
	美術文化演習皿-1	4前		2		1							美術文化演習皿-1	4前		2		1					
	美術文化演習Ⅲ-2 日本画実技IV-1	4後 4前		8		1 2							美術文化演習Ⅲ-2 日本画実技IV-1	4後		2 8		1					۱, ۱
	洋画実技Ⅳ-1	4削 4前		8		2					2		洋画実技Ⅳ-1	4前 4前		8		2					2
	美術実技Ⅳ-6	4通		4		1	1				2		美術実技Ⅳ-6	4通		4		0	1				3
車	学外演習 Ⅱ(インターンシップ とワークショップ2)	4通		2		2	1					車	学外演習 II (インターンシップ とワークショップ2)	4通		2		1	1				1
門	デジタルサウンド	3前		2							2	門	デジタルサウンド	3前		2							2
科口	広告表現論	3前		2				1				科口	広告表現論	3前		2				0			1
目/	建築企画論2	3前		2							1	目/	建築企画論2	3前		2							1
領は	エルゴノミクス論 デザイン実技Ⅲ-1	3前 3前		2		4	4	2			1	領せ	エルゴノミクス論 デザイン実技Ⅲ-1	3前 3前		2		4	5	1			1
域展	デザイン実技皿-2	3前		2		2	4	1			8	域展	デザイン実技Ⅲ-2	3前		2		2	9	0			9
開	デザイン実技Ⅲ-3	3後		2		3	2	1			2	開	デザイン実技Ⅲ-3	3後		2		3	2	1			2
	デザイン実技Ⅲ-4	3後		2		1	1	2			7		デザイン実技Ⅲ-4	3後		2		1	1	1			8
	デザイン演習 Ⅱ -1 文芸実技Ⅲ-1(小説創作)	3前		2		3	2	1			3		デザイン演習 Ⅱ-1 文芸実技Ⅲ-1(小説創作)	3前		2		3	2	1			3
	文芸実技Ⅲ-2(戯曲創作)	3前 3前		2									文芸実技Ⅲ-2(戯曲創作)	3前 3前		2							1
	文芸演習Ⅱ-1	3前		2			1						文芸演習Ⅱ-1	3前		2			0				1
	(恋愛心理学) デザイン演習 Ⅱ-2	3後		2		6	'	2			1		(恋愛心理学) デザイン演習 II-2	3後		2		6	ľ	4			1
	レビュー田	3後		2		10	6	4					レビューⅢ	3後		2		9	7	2			2
	インテリア設計論	3後		2							1		インテリア設計論	3後		2							1
	環境設計論	3後		2							1		環境設計論	3後		2							1
	建築構造学 照明演習	3後 3後		2							1		建築構造学 照明演習	3後 3後		2							1
	デザインプロデュース	3後		2				1			'		デザインプロデュース	3後		2			1	0			
	文芸実技Ⅲ-3(小説創作)	3後		2		1							文芸実技Ⅲ-3(小説創作)	3後		2		1					
	文芸実技Ⅲ-4(俳句創作)	3後		2							1		文芸実技Ⅲ-4(俳句創作)	3後		2							1
	文芸演習Ⅱ-2 (絵本·児童文学創作)	3後		2			1						文芸演習Ⅱ-2 (絵本·児童文学創作)	3後		2			1				
	デザイン実技Ⅳ	4前		4		6	5	4			6		デザイン実技Ⅳ	4前		4		6	6	2			7
	文芸実技IV 視覚デザイン論 II	4前		4		1	1						文芸実技Ⅳ 視覚デザイン論 Ⅱ	4前		4		1	1				
	校見デリイン論	4後 4後		2		13	3						成見テリイン論 II 卒業研究(音楽)	4後 4後		2		13	1				2
	卒業制作(美術)	4通		6		3							卒業制作(美術)	4通		6		2					1
	卒業制作(美術・デザイン)	4後		8		18	7	4			25		卒業制作(美術・デザイン)	4後		8		14	8	2			30
	卒業研究(芸術教養) 教職論	4後		4	2	1	2						卒業研究(芸術教養) 教職論	4後 1前後		4	2	1	2				\vdash
	教育原論	1前後			2	Ι΄					1		教育原論	1前後			2	l					1
資格	学習心理学	1前後			2		1					資格	学習心理学	1前後			2		0				2
関	教育制度論	1前後			2	1						関	教育制度論	1前後			2	0					1
連	教育課程論	1前後			2		1					連	教育課程論	1前後			2		0				1
教	音楽科指導法1 音楽科指導法2	3前後 3前後			2						1	教	音楽科指導法1 音楽科指導法2	3前後 3前後			2		1				0
職	音楽科指導法3	3前後			2	1						職	音楽科指導法3	3前後			2	1	•				
に関	音楽科指導法4	3前後			2						1	に関	音楽科指導法4	3前後			2		1				0
す	美術科・工芸科指導法1	2前後			2	1						す	美術科·工芸科指導法1 (未開講)	2前後			2	1					
る科	美術科・工芸科指導法2	2前後			2	1						る科	美術科・工芸科指導法2	2前			2	1					
目	美術科指導法1	2前後			2	1						目	美術科指導法1	2前			2	1					
	美術科指導法2 特別活動論	2前後 1前後			2	1					1		美術科指導法2 特別活動論	2後 1前後			2	1					0
資	道徳教育指導論	1前後			2						1	資	道徳教育指導論	1前後				Ŀ					
格関	担 版 教 月 拍 导	1前後			2		1				'	格関	担您教育拍导調 教育方法論	1前後			2		0				1 1
連 /	生徒·進路指導論	1前後			2						1	連	生徒・進路指導論	1前後			2		1				0
教職	教育相談	1前後			2		1					教職	教育相談	1前後			2		0				1
(5	教育実習 I	4前	I		1	1	l	l		l		(C	教育実習 I	4前			1	0					1

		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
す	教育実習 Ⅱ	4後			2	1					
る 科	教育実習Ⅲ	4後			2	1					
11·F	教職実践演習(中·高)	4後			2	2					1

		配	È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目 区分	授業科目の名称	当 年	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
		次	修	択	由	授	授	師	教	手	担
す	教育実習 Ⅱ	4後			2	0					1
る科	教育実習Ⅲ	4後			2	0					1
目	教職実践演習(中•高)	4後			2	1					1

- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、 平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【平成29年度】

・教育課程充実のためクラス数を増加。「大学生になる」「日本語表現」
・学生への教育効果を考え開講時期を変更。「現代芸術と文化」「民俗学」「歴史と人間」「文学」「キャリア1」「英語1」「英語2」「コミュニケーション英語1」「コミュニケーション英語2」「フランス語1」「フランス語2」「中国語2」「西洋音楽史各論」「美術文化各論2」「エコロジーとバリアフリー」「認知科学」「デザインと文化2」「人類生存のための教養」「文化史」「教養と現代1」「アート・プロジェクト1」「立体造形」「建築史」「工芸史」「彫刻論」「近代美術史」「アートマネジメント概論」「音楽ケアデザイン各論1」「西洋音楽史概論」「美術実技 I -3(日本画)」「美術演習 I -2(美術文化2)」「石彫技法」「教職論」「教金管管・「教会程度管・「教会程度管・「教会程度管・「教会程度管・「教会程度管・「教会程度管」」「教会程度管」「教会程度管」「教会程度管」「教会程度管」」「教会程度管」「教会程度管」「教会程度管」「教会程度管」「教会程度管」「教会程度管」「教会程度管」「教会程度管」「教会程度管」「教会程度管」「教会程度管」」「教会程度管」「教会程度管」「教会程度管」「教会程度管」「教育程度管」「教会程度管」「教育程度管」「教会程度管」「教育程度管」「教育程度管」「教育程度管」「教育程度管」「教育程度管」「教育程度管」「教育程度管」「教育程度管」「教育程度管」「教育程度管」「教育程度管」「教育程度管」「教育程度管」「教育程度管」「対象程度管」「対象程度管」「対象程度管」「対象程度管」「対象程度管理を表現して、対象程度管理を表現して、対象程度管理を表現して、対象程度を表現して、対象を表現り、対象を表現して、対象を表現して、対象を表現して、対象を表現して、対象を表現して、対象を表現して、対象を表現して、対象を表現して、対象を表現り、対象を表現して、対象を表現り、対象を表現り、対象を表現り、対象を表現り、表現り、対象を表現り、対象を表現して、対象を表現り、表現り、対象を表現り、対象を表現り、対象を表現り、対象を表現り、対象を表現り、表現り、表現り、対象を表現り、対象を表現り、表現り、表現り、表現り、表現を表現り、表現り、表現り、表現り、表現り、表現りを表現り、表現り、表現りを表現り、表現り、表現り、表現り、表現り、表現り、表現を表現り、表現を表現を表現り、表現り、表現り、表現の、表現を表現り、表現り、表現り、表現り、表現り、表現り、 「教育原論」「教育制度論」「教育課程論」 |教育原編] |教育初度編] |教育財程編] |教育財程編] | 就任辞退のため。「子育でとアートの人類学」「自分を知る心理学」「中国語1」「建築史」 「アート・プロジェクト2」 「音楽通論」「デザイン基礎演習D」「デザイン基礎演習E」「デザイン演習 II - 2」「学習心理学」「教育相談」 教育上の効果を向上させるため担当教員を追加。「哲学」「英語1」「英語2」「コミュニケ―ション英語1」 「コミュニケ―ション英語2」「音楽の世界」「版画実技1」「エンターテインメントディレクション特殊研究」「絵画」 「コミュニケ―ション英語2」「音楽の世界」「版画実技1」「エンターディントディレクション特殊研究」「絵画」 「完全な世報9、「完全な「1、「完全な「2」「全集 1-1」「金集 1-2」「知事学 I - 1」「和事学 I - 2」「ソルフェージョ 「アート・プロジェクト2」「図学1」 「室内楽基礎2」「室内楽 I -1」「室内楽 I -2」「合奏 I -1」「合奏 I -2」「和声学 I -1」「和声学 I -2」「ソルフェージュ実習 I -1」 「デッサンⅡ」「版画実技Ⅱ」「デザイン概論」「デザイン実技 I -1」「アサイン実技 I -2」「アワイン夫投 I -3」「デザイン実技 I -4」「レビュー I」・職位の変更。「健康と体力」「キャリア1」「キャリア2」「デザインと文化2」「ソーシャルデザイン論」「副科実技B-1」「副科実技B-2」「演奏実習 II -1」「字内楽 II -2」「合奏 II -1」「合奏 II -2」「演奏実習 II -1」「演奏実習 II -2」「演奏実習 II -2」「新楽合音楽実技2」「美術実技 II -4」「デザイン基礎演習C」「レビュー II 」「デザイン実技 II -1」「デザイン実技 II -3」「文芸実技 II -4(日本語プレゼン)」「芸術教養レビュー2」「セミナー2」「器楽応用研究1」「合奏II -1」「合奏II -2」「室内楽II -2」「室内楽II -2」「音楽表現実技II 」「総合音楽実技3」「器楽応用研究2」「合奏IV -2」「室内楽IV -1」「室内楽IV -2」「音楽表現実技II 」「総合音楽実技4」「広告表現論」「美術実技 II -1」「美術実技 II -1」「手術実技 II -1」「手術実技 II -1」「デザイン実技 II -1」「デザイン実技 II -1」「デザイン実技 II -1」「デザイン実技 II -1」「デザイン実技 II -1」「デザイン実技 II -2」「デザイン実技 II -1」「デザイン実技 II -2」「デザイン実技 II -2」「デザイン実技 II -3」「デザイン実技 II -3」「デザイン実力 II -3」「デザイン実力 II -3」「デザイン実力 II -4 に対していまする II -4 に対しなどのには、II -4 に対しなどのに対していまする II -4 に対していまする II -4 に対していまする II -4 に対していまする II -4 に対していま 教職課程設置への対応のため。「教育課程論」「教育方法論」

【平成30年度】

「美術実技Ⅰ-2(クリエイター研究/ポートフォリオ制作演習)」「近現代日本画表現1」「近現代日本画表現2」「日本画実技皿-1」 「日本画実技Ⅳ-1」 ・就任辞退により担当者を変更。「アートマネジメント英語2-1(テクニカル用語含む)」 「アートマネジメント英語2-2(テクニカル用語含む)」「「文芸実技II-4(日本語プレゼン)」 教育課程充実のため授業科目を追加「声優アクティング表現実技Ⅰ」「声優アクティング表現実技Ⅱ」

- (注)・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、 平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

	設置時	の計画			変更	状況		備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	1佣 右
7 科目	571 科目	22 科目	600 科目	7 科目 [0]	573 科目 [2]	22 科目 [0]	602 科目 [2]	

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合: \triangle 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	デザインと文化2	2	1後	一般	選択	平成29年度開講、「デザインと文化1」と隔年開講、次年度開講予定
2	デザインと文化4	2	2後	一般	選択	「デザインと文化3」と隔年開講、次年度開講予定
3	海外研修	2	1前	専門	選択	平成29年度開講、隔年開講、次年度開講予定
4	教養と地域文化2	1	2前	専門	選択	「教養と地域文化1」と隔年開講、次年度開講予定
5	教養文化と職業2	1	2後	専門	選択	「教養文化と職業1」と隔年開講、次年度開講予定
6	音楽ケアデザインワークショップ3	4	1通	専門	選択	授業運営上の都合により未開講、次年度開講予定
7	初見奏法1	1	2前	専門	選択	授業運営上の都合により未開講、次年度開講予定
8	初見奏法2	1	2後	専門	選択	授業運営上の都合により未開講、次年度開講予定
9	美術実技Ⅱ-9	2	2後	専門	選択	授業運営上の都合により未開講、次年度開講予定
1 0	乾漆技法	2	2通	専門	選択	隔年開講、次年度開講予定
1 1	工芸制作	2	2前	専門	選択	授業運営上の都合により未開講、次年度開講予定
1 2	美術科・工芸科指導法1	1	2前後	専門	選択	「美術科・工芸科指導法2」と隔年開講、次年度開講予定
						_

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目については選択科目であり、学生は開講年次以降、どの学年でも履修可能な科目であるため、隔年開講科目として昨年度開講した科目も含め、来年度には開講予定であることから学生の不利益にはならないものと考える。学生へは、授業時間割表によって周知を図っている。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

 未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計
 =
 12
 =
 2

 設置時の計画の授業科目数の計 (A)
 =
 600
 =
 2

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分				内				容			備考
(1)		区	分		専	用	共	用		キ用する他の 学校等の専用			計	
校		校纟	き 敷 坩	<u>t</u>	5	3, 923. 20 m²	2	0	m²		0 m²		53, 923. 20 m	
TX.		運動	場用地	ļ		7, 286. 24 m	2	0	m²		0 m²		7, 286. 24 m	大学全体
地		小	計	-		1, 209. 44 m	i	0	m²		0 m²		61, 209. 44 m	
等		そ	の他	ļ	4	4, 014. 96 m 5, 082. 96 m		0	m²		0 m²		15, 082. 96 m	余剰分の学生駐車場・駐 輪場を処分。平成29年2
þ		合	計	-		5, 224. 40 m 6, 292. 40 m		0			0 m²		75, 224. 40 m 76, 292. 40 m	月、校地変更届提出済 (30)
					専	用	共	用		キ用する他の 学校等の専用			計	
(2) 校			舎		6	5, 809. 81 m ²	2	0	m [*]		0 m [®]		65, 809. 81 m	大学全体
					(65, 8	09.81 m²)	(0 m²)	(0	m³)	(65,	809.81 m²)	
				誹	義室	演	習室	実験多	習室	情報処理	学習施訂	殳 語	学学習施設	_
(3) 教		室	等		56	室	50 室	!	198 室		8	室	2 室	
					Г					(補助職	夏 2人)	(補助)職員 0人)	
(4) 専	任教	負研究	室				『等の名称			至		数		-
							芸術学科	•		1	80		室 ————	
	垒	新 职党 如 生					う雑誌			視聴覚資	料機	械・器具	標本	
(5)	47		設学部等 の名称 〔うち外国書〕 〔う				外国書〕	電子ジャ						
w						#	— 種	1,7,		20.404	点	点	点	型 平成29年度は除籍した書
図書•		芸術学	部	(254, 0	2 (65, 212) 84 (60, 588))	(1.00)	8 (157) 8 (187))		2 (12) 1 (11))	38, 494 (42, 539		_ _)	_	籍が多かったため、図書 の冊数は減少したが、図
設情					00 (60, 931)) 2 (65, 212)		8 (157)	1	2 (12)	(36, 678) 38, 494	<u> </u>		(–)	書購入費を増額することで、視聴覚資料を充実させた。(30)
VH		計			200 (60, 931)	,	8 (187)		1 (11)	(36. 678) (_)		272. (30)
				(===,	面	積	. (,	閲覧層		(00, 070	収納	可能	, ,	大学全体
(6) 図		書	館			2, 719	mi		318	席			95, 000 m	-
			2,719 面 積						体育館以	外のスポー	ツ施設の)概要		大学全体
(7) 体		育	館			1, 944. 54	m テ =	- スコ	-	7 面				-
		AN IT	Σ	ζ.	分	開設年度	完成年	度 区	分	開設前年	度開	設年度	完成年度	研究費の配分を見直し、 個人研究費を減額し共同
(8)			教員 1	人当り	研究費等	25 160千	25 160	千 図書	購入費	18, 900 19, 500), 500 1, 875千	10, 500 19, 500 ∓	研究費を設けることで、 研究の充実を図った。
経費の 積り及	兄	共同研究費等 5,950 —千		5, 950 —-	設備	購入費	67, 000 T		5,750千円		- (29) - 図書購入費を増額し、充			
維持方の 概	法	法				第	3年次	第4年	F次	第5年	次	第6年次	実を図った。(29)	
		納付金 1,621千円 1,421千					千円	1, 421千円	1, 4	21千円		-千円	一千円	
		学生	納付金	以外の	維持方法の	概要								

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	名	古	屋	芸 術	大	学					備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入定	学員	編入学定	型 収 に 定	容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設年 度	所 在 地		
	年		人	年》		人		倍				
芸術学部 芸術学科	4		445	3年次 35		890	学士(芸術)	0. 90	平成29年度	愛知県北名古屋市熊之庄古井281		
人間発達学部 子ども発達学科	4		140	3年次 10		580	学士(教育学)	0. 54	平成19年度	愛知県北名古屋市熊之庄古井281		

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部,学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(<u>AC対象学部等含む</u>)について,それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の 平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、<u>入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、</u> 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留意事項	等	履行状況		未履行事項について の実施計画
設 置 時 (29年4月)	・人間発達学部子ども 発達学の元 大選学がの、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	留意事項	人間発達を 利成26年の人 27年年100 名名4年00名、27年年100名名名、29年年70名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名名	未履行	人間 大利度 大利度 大利度 大利度 大利度 大利度 大利度 大利度
設 置 時 (29年4月)	・規を割かをは、職員によび、まめのと目に、職員いのというという。またのでは、、まののというというでは、、まののとのは、、まののとのは、、まののとのは、、まののとのは、、まののとのは、、まののとのは、、まののとのは、、まののとのは、、まののとのは、、まのというできない。	留意事項	届出時に32年 (に専専す32年 (に専専事17.5のの (にをでの) (では、14名名) (では、14名の) (では、142の) (では、1420の) (では、1420	履行済	
	・同一設置者が設置できるでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大きでは、大き	改善意見	平成30年度は一般入試の歩留まりが悪く、入学者数は61名となった。平成31年度に向けて、新たに設けた4つの履修コースの周知・PRを徹底し、学生募集の充実を図る(30)	未履行	人間発達 1年本 ・ 1年本 1年本 ・ 1年本 ・ 1年本

(注)・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(<u>学校法人の</u> <u>寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等 について、具体的に記入し、<u>報告年度を()書き</u>で付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、<u>当該大学に付された意見を全て記入</u>するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入して ください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<芸術学部 芸術学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況,今後の見通しなど
① 施設・設備 ・演習室2室(61㎡・64㎡) ・演習・実技室(56㎡) ・保管室(34㎡)	① 学生のよりよい学修環境を整備するため、演習室2室 及び演習・実技室として1室を整備した。 教育研究環境整備のため、教材・資料保管室1室を 整備した。

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成29年4月より、「FD・SD推進センター委員会」規程を定め、教員及び事務職員を対象とし大学教育の質の向上に取り組む。構成員はセンター長(学部教務主任)をはじめ、副学長・芸術学部長・人間発達学部長、芸術学科長及び子ども発達学科長、事務職員からは、学務部長及び東西キャンパス教務学生課長を配置している。

本学において従来のFD活動は、教員による授業参観の実施や、学生による「授業アンケート」を実施していた。 SD活動としては、「職員研修実施運営委員会」構成し、法人事務局を含めた全事務職員を対象に「実務研修」 「職場内研修」などを企画し研修を実施している。

今年度からは、これまで実施してきた教員による活動と事務職員が活動してきた内容を深化させ、教職協働による活動を実施し、教育の維持向上を目指す。

また、「大学等経営協議会」の下に平成28(2016)年12月に設置された「人事・賃金制度改革プロジェクトチーム」において、教員評価、職員評価の制度設計が進められており平成30年4月から教員評価制度を導入した。

平成31年度からは、職員評価制度を実施予定としている。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

月1回程度を定例開催とし、活動内容を具体化する。その他、必要に応じて開催する。

平成29年度は、5/24、11/1の2回開催し、それぞれ9名の構成員全員が出席した。

- c 委員会の審議事項等
 - ・年間活動の計画
 - 予算管理
 - 活動計画の実施
- ② 実施状況
 - a 実施内容
 - ・ 教員・職員による授業参観及び意見交換
 - 授業方法の研究会
 - ・ 外部講師によるFD講演会の実施
 - b 実施方法
 - ・ 授業参観を実施し、優秀な点及び改善点について意見交換を実施する。
 - ・ 学生が授業科目の内容を十分に理解することができる授業の展開について情報交換する。
 - c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - 前期・後期中に1回以上の授業参観を実施する。
 - ・ 平成29年度は、後期に1ヵ月の期間を設けて教員相互の授業参観を実施した。
 - ・ 研究会ついては、随時実施する。
 - ・ 平成29年度は、6月20日に授業研究会を実施した。

- ・ 平成29年度は、12月20日に外部講師を招いて「FDの必要性と意義を再考する」を演題とした講演会を実施した。
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・ 授業改善には随時取り組み、状況については年度末に報告書として冊子を作成する。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
 - ・毎年、後期に1回実施していたが、平成30年度から前・後期ともに実施する。
 - b 教員や学生への公開状況, 方法等
 - ・アンケート結果については、各科目の担当教員に配付しフィードバックを求めている。
 - ・全体的なアンケート結果は、冊子を作成し教職員及び学生に公開している。また、本学HP上に公開している。
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- (3) 自己点検・評価等に関する事項
- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

新設の芸術学部芸術学科の目的は、音楽領域、美術領域、デザイン領域及び芸術教養領域における知識・能力を有する人材を養成するとともに、他者との協働に必要な言語力や論理的思考力、グローバル社会で必要とされる語学力等を有し、芸術を媒介としながら、主体的に社会へ参画していく能力を有する人材を養成する事である。平成29年度においては、言語系科目・初年次教育科目の必修化及び従来の音楽・美術・デザインの縦割りの教育課程から、横断的な教育課程となり、所属する領域以外の授業科目の履修が促進される等の一定の効果を上げている。(29) 平成30年度から、学生の横断的な履修を更に促すために、反接、専門割りの関係が表で関す。

ルバスを増便する等を行った結果、所属する領域以外の領域の専門科目の履修者が増加した。 音楽・美術・デザインの各領域を横断する教育課程が社会に認知された結果、入学定員445名を充足した。(30)

- ② 自己点検・評価報告書宛
 - a 公表 (予定) 時期
 - 平成30年3月30日 公開
 - b 公表方法
 - 自己点検・評価報告書を刊行し、図書館に設置予定。
 - ・大学ホームページ上に公開(平成30年3月30日)
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成29年度に評価機関(日本高等教育評価機構)の評価を<mark>受審済み。次回の認証評価受審については、受審時期を検討中。</mark>
- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

- (4) 情報公表に関する事項
- 〇 設置計画履行状況報告書
 - a ホームページに公表の有無 ((有) ・ 無)
 - b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成30年9月28日予定)